



能登高だより第 67 号

編集・発行：石川県立能登高等学校

☎ 0768-62-0544 ㊟ 0768-62-2935



合格おめでとう！

喜び満ちる春顔の合格発表、 高校生になる実感かみしめる予備入学



三月十五日正午、合格発表が行われました。正面玄関前に合格者の受験番号が書かれた紙が貼り出されると、待ちかねていた受験生たちが一斉に駆け寄り、懸命に自分の受験番号を探していました。見つけた自分の受験番号と自分の受験票の番号と本当に間違いがないか、何度も見直したりしている姿が印象的でした。引き続き翌日に、予備入学が実施され、高校生になるための心得と春季休業中の課題などについての話があり、合格した一人ひとりが、四月からのスタートに備え、気を引き締めていました。



祝・全国大会出場！ 上昇と常勝を続ける、我が校の強く萌ゆる花々。

男子ソフトテニス部

主将 奥野立樹

僕たち能登高校男子ソフトテニス部は全国選抜大会に向けて良い結果を残そうと日々練習に励んできました。保護者の皆様や先生、地域の方々の支えのおかげもあってこの大会に出場することができました。その感謝の気持ちを忘れずにチーム一丸となって戦っていきます。

(能都中学校出身)

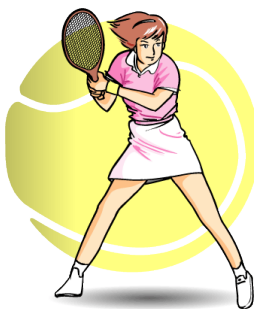


女子ソフトテニス部

主将 山本英里

私たち女子ソフトテニス部にとってこの大会は、初めてとなる全国の舞台です。「このメンバーで全国に行こう！」と県選抜、北信越大会を経て、全国選抜に出場できることになりました。正直に言いますと、この小さな学校の私たちが、各地方から集まる強豪校と戦えるのか不安もありましたが、能登高校の生徒として、北信越代表としての自覚と誇りを持って戦ってきます。大会までに残された時間を大切に、皆で互いを高め合いながら練習に励みたいと思います。

(能都中学校出身)

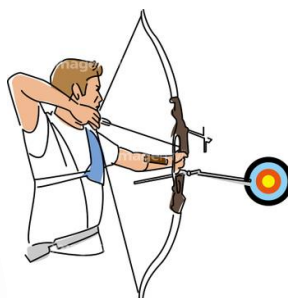


アーチェリー部

山口 真琴

三月二十六日から二十八日にかけて、静岡県の小笠山総合運動公園で行われる第三十五回全国高等学校アーチェリー選抜大会に出場します。今まで積み重ねてきた練習や、応援してくださった沢山の方々への感謝の気持ちを忘れずに、入賞目指して精一杯頑張ります。

(能都中学校出身)



今を盛りと咲く花のように、一瞬一瞬を完全燃焼、全力疾走する皆さんを、私たちも全身全霊で応援します！



楽勝、辛勝…悲喜交々の試合模様、校内球技大会。



三月十七日に球技大会が行われました。各クラス一致団結し、精一杯頑張っていました。大会を通し、クラスの団結力が深まったように思えます。球技大会を終えて、中村朱里生徒会長は「みんなで協力して、無事に楽しく終えられて良かったです。今までで一番の球技大会になりました」と述べました。

試合結果

男子バスケットボールの部
 1位 11HA 2位 23HA 3位 21HA
女子バレーボールの部
 1位 23H 2位 21HA 3位 21HB
女子バドミントンの部
 1位 21HA 2位 22H 3位 12H

訃報

去る三月一〇日、本校一年生の池下未沙さんが悲しい事件に巻き込まれ帰らぬ人となりました。事件については、今もお報道以外に知る手立てのない現状です。

本校では一三日に全校集会を行い、経過説明の後、全校で黙禱を捧げました。臨床心理士、スクールカウンセラー、やすらぎ教室の方々が生徒の心のケアにつとめてくれました。学校生活の中では、一人ひとりの小さな変化も見落とさないよう、職員が生徒に寄り添っています。また、PTAの協力のもと、見守り活動を実施。バス停付近の明るさについても関係方面と協議を進めています。

生徒、保護者、職員。深い悲しみ、重い憤り、言いようのない悔しさ、足がすくむほどの怖れ。どうしようもない苦しさを、一人ひとりがいまだ胸に抱いたままですが、安全・安心な学校を取り戻すため、普通の日常に帰っていくため、少しでも前を向けるよう努力を重ねていきます。能登高校一同、衷心よりお悔み申し上げます。わたしたちは未沙さんと共に過ごした日々を決して忘れません。

平成二九年三月一七日
 石川県立能登高等学校

悲しみの先に

校長 大窪 直二

三月十日に発生した悲惨な事件によって、能登高校の生徒、教職員そして学校関係者の全てが、悲しみの底に突き落とされました。私は、悲しみに打ち拉がれたご両親、ご家族そしてご親族の皆様のお姿を拝見した時、かける言葉が見つかりませんでした。私は、教職に就いている限り、いや生涯において今回の事件を忘れることはないでしょう。今は校長として、より安全で、より安心な学校づくりに邁進する一心です。

生徒の皆さんも、そして地域の皆さんも東日本大震災をはじめとした震災も、テレビ等のニュースで放映される悲惨な通り魔事件等も今後は他人事と思わず、常に我が身に起こり得る事として、その対策等を考えなければなりません。今は悲しくて涙がとまりません。しかし、被害生徒もそのご両親も、一日も早く、悲しみから立ち直って前を向いて明るく元気に進んでいく能登高校生の姿を望んでいます。

4月の主な行事予定

- 10日 入学式 鳳雛塾①
- 11日 課題テスト
対面式・部活動紹介
- 12日 1年生オリエンテーション
1年生個人・集合写真撮影
- 13日 生徒会総会 身体測定
鳳雛塾②
- 15日 土曜スクール①
3年生進路ガイダンス
- 16日 鳳雛塾 (公務員講座①)
- 18日 鳳雛塾③
- 19日 前期生徒会役員選挙
- 21日 PTA理事会
- 26日 生徒会退団式 伝達表彰式
- 29日 3年生進研記述模試 (~30日)
公務員模試



編集後記

先日、学校前庭の花壇のクロッカスが芽吹いているのに目が止まって、春がやって来たしるしに嬉しくなったと思ったのも束の間、今朝見ると、もうしっかりとその花を咲かせているではありませんか。その美しい色に思わず、カメラを向けてしまいました。この鮮烈さは、冬の間じっと土の中で、芽吹く時を待つことで生まれる色なのだなあ、と思うと、冬の厳しさに殊更感謝したくなった瞬間でした。と同時に、何事も開花するためには、様々な時間に耐え抜く力が必要のだと改めて思った出来事でもありました。そんな折、受験を続けていた生徒が名古屋外国語大学に合格したとの一報が。彼女もまた「未来に続く確かな学び」ができる、ここ能登高校で、「自分だけの花を咲かせ」たのです。

